

清明学園 同窓会

トンボ通信

創刊号

平成29年6月発行



清明学園同窓会再出発にあたって

同窓会名誉会長
濱野 富美子



清明学園卒業生の皆様には
ますますご壮健のこととお慶
び申し上げます。

清明学園の同窓会活動は長
年同窓会のためにご尽力いた
だきました。安田寛基会長が平
成二六年にご病気で他界され
現在、会長は不在となっております。
また、同窓会としての活動
も平成八年、五反田の「ゆ
うぼう」とで開催された懇親
会を最後に活動が停滞して
おりました。

発行: 清明学園 同窓会

〒145-0066
大田区南雪谷三丁目12-26
学校法人 清明学園内

ホームページ
<http://seimei-dousoukai.com>

連絡メールアドレス
seimei.dousoukai@gmail.com

会長 藤井 俊一
発行人 千葉 精一

学年単位でのまとめ役として
学年連絡担当を決め、第一
回の会議を開催し三十数名が
参加され再構築に向け熱心な
討議がおこなわれました。
現在まで空席となっており
ました。同窓会会長には藤井俊
一委員に、副会長には橋本繁
樹委員にお願いを致し、準備
委員会の快諾も得られました。ご
この度新たに、会長及び副会
長の任に当たっていただくこ
とに致しました。

今後「清明学園同窓会」
活動を充実し円滑に機能させ
るためには広報活動並びに同
窓生との相互連絡の手段の一
つとしてホームページと同窓
会会報を作成することと致し
ました。
何卒清明学園同窓会発展の
ためにお力添えご協力をよろ
しくお願い申し上げます。

清明学園同窓会組織再出発にあたって

同窓会会長 藤井 俊一



一九三〇年(昭和五年)に創
立された母校清明学園は、も
うすぐ九十年の歴史を刻もう
としております。
創立者濱野重郎先生の教育
理念「子供と共に生き、子供
を生かし、子供を通して生き
る。」に根ざし、一人ひとりの
子供のよさを見つめる「子供が
主役」の教育の許、我ら五千二
百人を超える卒業生が学園を
築きました。

卒業生をはじめ保護者の
皆様などご支援をして下さ
った多くの方々の時代を超
えた絆のおかげで清明学園
は発展を続けており、卒業
生を振り返り立ちの場も思
い出し「清明学園」へ同窓
会を通して帰りたいと思っ
ております。
本年四月一日に再構築さ
れた新生同窓会は同窓会活
動をより活性化させ「清明
学園の today」清明学園は
永遠なり」をテーマとし、
併せて卒業生相互の親睦を
より厚くするよう、又より
良い未来へバトンタッチ出
来るように努力して参りま
す。
今後とも皆様トンボっ子
のご協力、何卒よろしくお
願い申し上げます。

四月三日新会則による第一回理事会が開催
され新役員が構成と平成二十九年度の行事
予定が決定されました

役員の新構成

平成二十九年度の行事予定

清明学園同窓会会則
第六条「役員の新構成」
により次の理事が選出
されました

「理事」

- 名誉会長 濱野 富美子 理事長
- 学校推薦理事 浅野 輝一 学園長
- 理事 鈴木 敏弘 中学校校長
- 横山 豊治 初等学校校長

同窓会役員

- 同窓会会長 藤井 俊一 中学4回卒
- 同窓会副会長 橋本 繁樹 初等部25回卒

清明学園同窓会会則 第八条「役員の新構成」 により次の担当者を選 出致しました

- | | |
|------|-------------------------|
| 総務担当 | 橋本 繁樹 |
| 会計担当 | 千葉 精一 |
| 広報担当 | 市川 忠道 |
| 行事担当 | 鈴木 英男
小原 秀之
竹中 祐介 |

運営費ご協力をお願い

同窓会の運営に関する原資は
昭和54年より卒業時に卒業
生から終身会費として一人三
千円を納めていただいております。
現在までに五百万円程資金が蓄
えられております。
しかし今後活動を活性化して
行くため卒業生約五千名への各
種案内の通信費、時代にマッ
チしたホームページの制作など
を、実施した場合は数年で底を
つき、付きたまはは会則にも記
したとおりです。つきましては
円、口数の上限は問いませんが
三、千円以上千円単位でのご協
力を賜りたく、今後機会を通じ
てご協力をお願いいたします。

- 四月一日 清明学園同窓会新体制で再スタート
- 四月三日 新会則の発効
- 四月五日 第一回理事会開催
- 四月十八日 初等学校入学式 列席
- 六月十八日 第二回学年連絡担当者会議
- 七月下旬 同窓会ホームページのアップ
- 九月三十日 (土曜日) 会報「トンボ通信」発行
- 十一月十九日 (日曜日) 清明祭(後援会主催)
- 第一回清明トンボ会